

# モビリティ・マネジメント 啓発パンフレット作成方針(案)

---

# 1. 啓発パンフレット作成事業者募集要件

## ◆ 業務概要

### 高松市の取り組み

- H22.11 総合都市交通計画策定
- H25.9 公共交通利用促進条例制定
- H27.3 高松市地域公共交通網形成計画策定
- H28.3 高松市地域公共交通再編実施計画策定

施策や理念を踏まえ、公共交通の利用促進に向けた  
市民意識の醸成を図るため、周知・啓発パンフレットを作成する。

MM実施効果を高めるため、対象者に合わせた資料を作成(3種類)

## ◆ 事業者選定方法

### プレゼンテーション審査

- 業務の理解度
  - 提案の独創性
  - 提案全体の構成と展開 等
- 審査項目に基づき、審査実施

### 審査員

- 市民啓発部会 会長
- 市民啓発部会 副会長 の2名を含む。

## 2. 啓発用パンフレットへ掲載する要素

### ◆ 共通項目

- 持続可能な「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくり
- 持続可能な公共交通ネットワークの考え方
- 対象者に合わせた、公共交通の必要性・重要性
- わかりやすくキャッチーなフレーズ
- 興味を引く内容及びデザイン

#### ポイント

集約したまちを交通でつなぐ

役割・責任を明確化する

視覚的に表現する

### ◆ 対象者に合わせた内容

対象者の主体的・自発的な行動変容を促すコミュニケーション方法として、3種類に大別。

#### 学校MM 児童・生徒・学生を対象に展開【興味を持たせ、気付いてもらう】

- 小学校では社会、中学校では公民で、まちづくりや持続可能な社会について学習する
- 「授業で使える」をコンセプトに、持ち帰って、家族(世帯)にも話して貰うこととも狙いとする

#### 企業MM 職場・企業等の法人を対象に展開【社会的責務、役割り】

- 税金の使い方として、公共交通に投資する意義について、テーマとする
- 公共交通を利用することが、社会や個人の課題解決に役立つという要素を盛り込む

#### 地域MM 地域の居住者を対象に展開【自分にできること、やるべきこと】

- 地域で支える公共交通をメインテーマとする
- 自動車中心の生活から、ライフスタイルを転換することについて考えられる要素を盛り込む

# 2. 啓発用パンフレットへ掲載する要素

## ◆ クロスセクター効果

公共交通に対する取り組み(出費)が、他部門の利益(節約)、ひいては市民の利益につながるような効果。

### 公共交通の役割・効果

医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院までの送迎サービス事業</li> <li>医師による往診</li> <li>医療費の増大対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通院手段</li> <li>家族の送迎負担軽減</li> <li>外出による健康増進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クルマを利用しづらい高齢者の外出手段</li> <li>外出による介護予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タクシー券配布や福祉有償運送等の拡充</li> <li>さらなる介護予防事業</li> </ul>	福祉
商業	日用品の訪問販売	スーパー等への買い物手段	交通事故の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>増加する交通事故対応</li> <li>高齢者ドライバーへのさらなる安全教育</li> </ul>	交通安全
教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの運行</li> <li>市外学校への通学断念</li> <li>居住地選択による人口流出</li> </ul>	学校への通学手段	企業への通勤手段	企業近くでの居住による人口流出対策	総務
観光	観光地等への送迎バス運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地等への移動手段</li> <li>地域の魅力創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通施設周辺地域の活性化</li> <li>地域のブランド価値の維持・向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地の価値低下等による税収減少対策</li> <li>「バスもない」というマイナスイメージを払拭する対策</li> </ul>	まちづくり
建設	渋滞対策としての道路整備	輸送密度の高い交通手段	環境負荷の低減	自動車増加対策としての、さらなる温室効果ガス削減対策	環境
防災	災害時における移動手段の確保	災害時における移動手段	コミュニケーションの増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>孤独感の増加対応としての、地域コミュニティの強化</li> <li>外出支援策の実施</li> </ul>	地域コミュニティ

### 公共交通がなくなった場合に必要となってくる各分野の対策

(出典)西村和記・土居勉・喜多秀行:「社会全体の支出抑制効果から見る公共交通が生み出す価値ークロスセクターベネフィットの視点からー」  
土木計画学会論文集 D3・特集号(土木計画学・論文集)2015年1月を参考に作成

# 3. スケジュール

年度	H30										
月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
関連計画・事業協議会等	推進協議会		啓発部会		新病院開院		推進協議会				推進協議会
MM実施	MM実施方針		啓発パンフ作成業務 ◆発注→審査				完成				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●方針(案)</li> <li>●啓発パンフ作成方針(案)</li> <li>●学校MM(香西小)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●仏生山周辺バス路線再編に係る地域への個別MM</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●イベント参加(予定)</li> <li>●啓発パネル展</li> <li>●学校MM(花園小)</li> </ul>				